
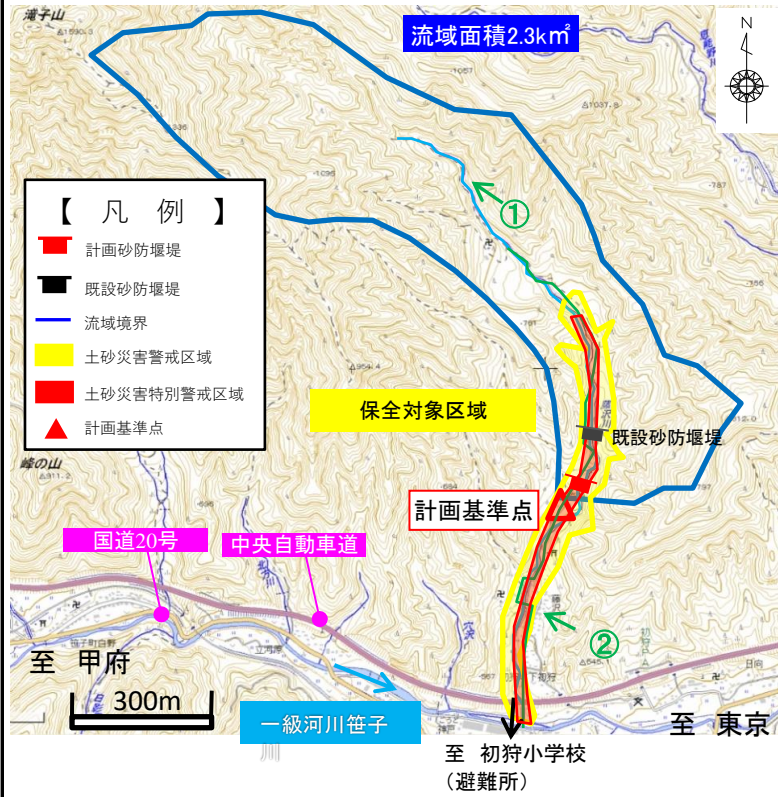


1. 事業説明シート

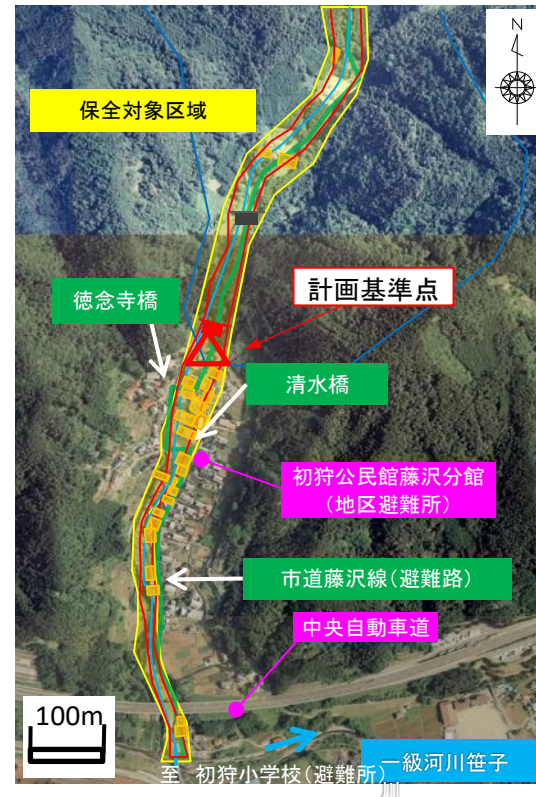
<b>事業名</b>	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	<b>事業箇所</b>	大月市初狩町下初狩	<b>地区名</b>	藤沢川 (フジサワガワ)	<b>事業主体</b>	山梨県																																						
<b>(1) 事業の概要</b>				<b>(3) 事業の妥当性評価</b>																																									
<b>①課題・背景</b> 本溪流は流域面積2.3km <sup>2</sup> の土石流危険溪流であり、土砂災害警戒区域に指定されている。近年の台風により溪岸が浸食され、河床には不安定土砂や転石が多く堆積している。流域上部には崩壊地などもあり、台風や集中豪雨時には土石流発生の危険が高まっている。また、砂防施設が整備されているものの整備率が低く、保全対象には人家32戸、避難路(市道)があり土石流が発生すると甚大な被害を及ぼす可能性がある。このため、砂防施設を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。				妥当 妥当でない <b>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)</b> 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
<b>②整備目標・効果</b>  □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 17% < 70%未済※ ・重要公共施設の有無 無 (保全対象：人家32戸、市道1,568m、橋梁2基)  □副次目標 — □副次効果 —				<b>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)</b> 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
<b>(2) 整備内容</b> <b>①整備内容</b> ・砂防堰堤 1基 H=10.0m L=93.0m  <b>②着手年度</b> 令和7年度 <b>③完成見込年度</b> 令和16年度  <b>④総事業費</b> 約410百万円 (国費205百万円(5/10)県費205百万円(5/10))  <b>⑤年度別の整備内容 (事業費)</b> 令和7年度 詳細測量、詳細設計、地質調査 20 百万円 令和8年度 用地測量、用地調査、用地取得・補償 10 百万円 令和9～16年度 砂防堰堤工事 380 百万円 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。				<b>③経済妥当性</b> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>410 百万円</td> <td>工期</td> <td>R7~R16</td> <td>基準年</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>323 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">751 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>322 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">182 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>1 百万円</td> <td>公共土木施設等被害抑止</td> <td colspan="2">28 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">40 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">501 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">2.3</td> </tr> </table> ※その他は、応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比(B/C)は、国の採択基準1.0を超えている。				総事業費	410 百万円	工期	R7~R16	基準年	R6	経済効率性	費用	323 百万円	便益	751 百万円		建設費	322 百万円	一般資産被害抑止	182 百万円		維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	28 百万円				人身被害抑止	40 百万円				その他※	501 百万円		B/C			2.3		
総事業費	410 百万円	工期	R7~R16	基準年	R6																																								
経済効率性	費用	323 百万円	便益	751 百万円																																									
	建設費	322 百万円	一般資産被害抑止	182 百万円																																									
	維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	28 百万円																																									
			人身被害抑止	40 百万円																																									
			その他※	501 百万円																																									
B/C			2.3																																										
<b>⑥既整備内容・期間・事業費</b> 砂防堰堤 H=7.5m L=40m S47~S51 事業費35百万円				<b>④事業実施・規模の妥当性</b> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である。																																									
				<b>⑤整備手法の有効性</b> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 土石流対策として、砂防堰堤の設置が最も効果的である。																																									
				<b>⑥環境負荷等への配慮</b> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 掘削法面等に緑化等を行い環境負荷に配慮する。																																									
				<b>⑦事業計画の熟度</b> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている。																																									
				<b>総合評価</b>																																									
				<b>[貢献度ランク：b]</b>																																									
<b>(4) 事業位置図等</b>																																													

## 2. 添付資料シート

### 流域概要図



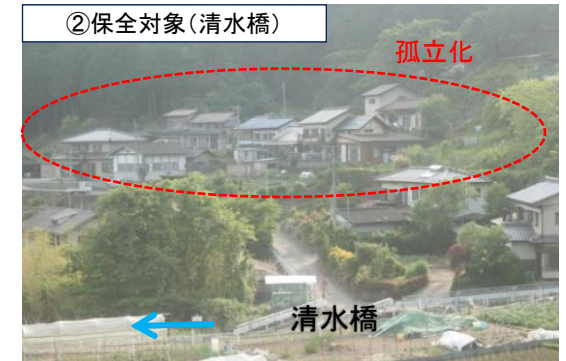
### 航空写真



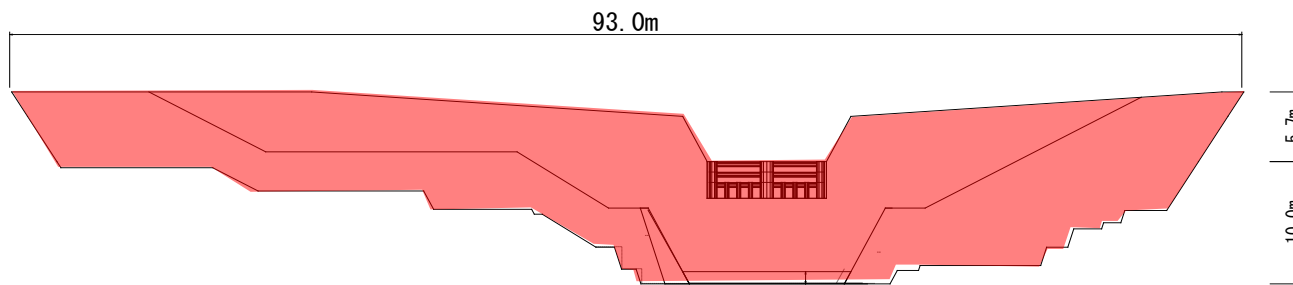
### ① 荒廃状況



### ② 保全対象(清水橋)



### 正面図



### 側面図

